

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0403010

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	B	
単位施策	1 防犯体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町防犯協会補助事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	#N/A	
事業指標	雄武町内の犯罪発生件数		#N/A	
事業目標	0件	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	1 防犯対策を行う当事者	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画 内容	雄武町防犯協会補助金	雄武町防犯協会補助金	雄武町防犯協会補助金	雄武町防犯協会補助金	雄武町防犯協会補助金	雄武町防犯協会補助金	
	地域安全運動の実施、防犯少年野球大会、歳末パトロールのほか、新入学児童に対する防犯ブザーの配布を行っており、子供が犯罪の被害者とならないよう活動を補助するものであります。						
計画 事業費	事業費(千円)	750	150	150	150	150	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	750	150	150	150	150		
実績 事業費	事業費(千円)	750	150	150	150	150	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	750	150	150	150	150		
関連 事項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) 防犯卓球大会や歳末パトロールのほか、新入学児童に防犯ブザー配布、防犯だよりの発行、イベント時の啓発活動などを行っており、町内の防犯活動を推進している。(20年発生40件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防犯卓球大会や歳末パトロールのほか、新入学児童に防犯ブザー配布、防犯だよりの発行、イベント時の啓発活動などを行っており、町内の防犯活動を推進している。(21年発生14件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防犯卓球大会や歳末パトロールのほか、新入学児童に防犯ブザー配布、防犯だよりの発行、イベント時の啓発活動などを行っており、町内の防犯活動を推進している。(22年発生13件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防犯卓球大会や歳末パトロールのほか、新入学児童に防犯ブザー配布、防犯だよりの発行、イベント時の啓発活動などを行っており、町内の防犯活動を推進している。(23年発生10件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 防犯卓球大会や歳末パトロールのほか、新入学児童に防犯ブザー配布、防犯だよりの発行、イベント時の啓発活動などを行っており、町内の防犯活動を推進している。(24年発生11件) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	0件	0件	0件	0件	0件
		年度達成率		100%	100%	100%	100%
		全体達成率		20%	40%	60%	80%
	事業進捗状況	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	

事業名 雄武町防犯協会補助事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
	評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南 慎一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	犯罪発生件数
【抱える課題やニーズは】	犯罪発生件数の減少	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	犯罪が起きない・犯罪を起こさない環境をつくる。	① 犯罪発生件数	目標年度 平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	犯罪のない明るい町を実現する。		目標値 0件
			実績値 11件
			達成度 #DIV/0! %
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	運営費補助金の交付	安定した組織運営を支援するため、運営費補助を行った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	犯罪の無い町づくりを推進するうえで活動の中心となる団体であることから、組織の安定運営のため必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	目標である犯罪発生件数ゼロは達成できなかったものの、各種事業の展開により町民の防犯意識向上を図ることはできたと判断する。
	<input type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	関係諸団体や警察と連携して事業を実施することで事業費抑制に努めており、効率的な事業展開が行われている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

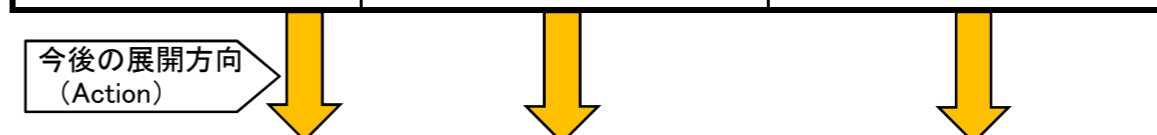
公平	判断の理由	町全体を対象とした防犯事業を実施していることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
当初計画どおりに事業が実施され、町民の防犯意識向上が図られた。		



継続/現状維持		
犯罪の無い明るい町を実現するため、防犯運動に対する補助は今後も必要である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止